

| | | | | | |
|---|---------|-----|--------|-------|----|
| 授業科目 | 犯罪心理学特論 | | 担当教員 | 宮崎 久生 | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 選択 | 開設時期 | 後期 |
| 【授業目標】 | | | | | |
| <p>犯罪、非行臨床の基礎となる犯罪心理学について、犯罪非行の発生から更生にいたる一連のプロセスに関する事項を総括的かつ実証的に解説する。内容として、犯罪心理学の課題、犯罪非行者の理解とその方法、犯罪非行の発生機制、各種犯罪非行の特質、犯罪非行者の矯正・保護の技法、犯罪被害者問題などを中心に取り上げる。</p> | | | | | |
| 【授業方法】 | | | | | |
| <p>文献、報道事例、統計資料など多面的な資料を活用し総合的に考察する。又文献学習で相互に発表しあいながら、演習的な学習も取り入れる。</p> | | | | | |
| 【授業計画】 | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 犯罪心理学の目的、課題、領域 2. 犯罪者の類型アセスメント、プロファイリング 3. 非行犯罪臨床の実際と手続き 4. 犯罪非行の動向と特質 5. 非行犯罪発生機制Ⅰ 6. 非行犯罪発生機制Ⅱ 7. 殺人事犯の心理機制 8. 普通少年の凶悪非行 9. 性犯罪の心理 10. 各種犯罪非行事例 11. 企業犯罪事例とそのメカニズム 12. 精神鑑定 13. 犯罪非行者の矯正と更生 14. 犯罪被害者に関わる臨床 15. 犯罪心理学の今後の課題と展望 | | | | | |
| 【評価方法】 | | | | | |
| <p>出席状況、授業態度、参加度、及び各種報告、レポートなど</p> | | | | | |
| 【教科書・参考書】 | | | | | |
| <p>教科書 特になし</p> <p>参考書 非行社会病理学 水島恵一 大日本図書 犯罪に挑む心理学 笠井達夫 北大路書房 矯正心理学上下 犬塚石夫 東京法令 犯罪精神医学入門 福島章 中公新書</p> | | | | | |
| 【学生に期待すること】 | | | | | |
| <p>講義と演習を加味した授業を展開したいので、疑問や質問を投げ掛けて欲しい。</p> <p>又具体的な事例も多く提供したい、意見や注文を歓迎する。</p> <p>次回のテーマについて予め課題をもって参加し、さらに授業では多くの資料を提供するので新たな課題を見出し勉学を進めて欲しい。</p> | | | | | |